～ ニューヨーク補習授業校だより ～

JWSNYの爽風

令和４年(2022)
１月２６日発行

Breeze
第 13 号

校長　川﨑淳一郎



本年もどうぞよろしくお願いいたします！

・新年の授業が、１月８日から始まりました。１月になり、気温がぐっと下がり、強風の日や雪の日もありました。多くの動物たちは、この冬に向けて寒さをしのぎ、食物を集めて準備してきました。また、木々や花々は、冬に耐えて、一冬越えることで、春にきれいな花を咲かせ、そして、実を付ける準備をします。私たちは、新しい年の始めに一年の抱負（心の中にある決意）を決めます。縁起のよいものを食べたり、幸せになるように願いごとをしたり、一年の出だしを大切にします。今年出会う人から学んだことを自分のための準備に役立てましょう！







【１月、一月（睦月）】２１日頃　大寒（たいかん）＝１年で寒さがいちばんきびしいころです。

・１月は、「睦月（むつき）」と言い、睦び月（むすびつき）とは、仲良くすること・仲睦まじいこと・互いに親しみ合うなどの意味を持つ「睦び合い」の宴を、お正月に家族や親族が集まる月に行うことが由来です。

【硬筆コンクール入賞者】　☆1月２８日(金)～２月１０日(木)紀伊國屋書店で展示へ！

［※紀伊國屋書店ニューヨーク店　ブライアントパーク付近 1073 6th Ave, New York, NY 10018］



冬休み中に取り組んだたくさんの作品が集まり、審査会を行ったところ、入賞が４２名、佳作が６９名選ばれました。入賞作品は、上記展示会場に掲示されます。入賞・佳作入選者には、賞状が、参加者全員に参加賞の鉛筆が渡されます！

【 漢字 検定が行われます。】　☆1月２９日(土) W校にて １３：３０集合 (約１５０名参加)

１．受検基準

○　２級：すべての常用漢字２１３６字（高校卒業、大学、一般程度）を理解し、文章の中で適切に使える。
○準２級：常用漢字１９５１字（高校在学程度）を理解し、文章の中で適切に使える。
○　３級：常用漢字１６２３字（中学校卒業程度）を理解し、文章の中で適切に使える。（４級以下を含む。）
○　４級：常用漢字１３３９字（中学校在学程度）を理解し、文章の中で適切に使える。（５級以下を含む。）
○　５級：常用漢字１０２６字（小学校の学習漢字のすべて）を理解し、文章の中で漢字が果たしている役割に対する知識を身に付け、漢字を文章の中で適切に使える。
○　６級：常用漢字８３５字（小学校５年生までの学習漢字）を理解し、文章の中で漢字が果たしている役割を知り、正しく使える。
○　７級：常用漢字６４２字（小学校４年生までの学習漢字）を理解し、文章の中で正しく使える。
○　８級：常用漢字４４０字（小学校３年生までの学習漢字）を理解し、文や文章の中で使える。
○　９級：常用漢字２４０字（小学校２年生までの学習漢字）を理解し、文や文章の中で使える。
○１０級：常用漢字８０字（小学校１年生までの学習漢字）を理解し、文や文章の中で使える。
※現在の「学習指導要領」に対応しています。

・学習指導要領では、小学校６年生までに１０２６字を学び、文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに，送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。中学校３年間で、さらに１１１６字を学び、漢字を読み、書き、文や文章の中で、使い慣れることが求められています。高校からは、学んだ常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使うことを目指します。

＜オンライン絵画展＞



・１２月４日にお知らせいたしました。「NY補習授業校絵画コンクール」のオンライン絵画展部門で、希望する幼児・児童・生徒が応募してきた作品が、幼稚部、初等部、中高等部別の展示室に展示されています。すでにW校で掲示された中で再度応募された作品、ＬＩ校の幼児、児童、生徒から応募された作品があります。ＬＩ校につきましては、入賞者に賞のマークを付けています。

【ＬＩ校　活動場面】　１２月 ～ １月



＜全校もちつき大会＞

◇1月８日（土）オンラインで全校もちつき大会を開催し、毎年この行事でお世話になる吉川委員長にご挨拶をいただきました。今回は、各家庭で材料と道具を準備し、事務所から琴の音とともに作業内容を説明しました。「家族で一緒にもちつきができて、クラスのみんなで食べておいしかった。」と大好評でした！！





ニューヨーク補習授業校ＬＩ校（川崎淳一郎校長）は８日、「Zoom もちつき大会」を開催した。同校では未だに対面授業が再開されないなか、生徒が一堂に会して新年を祝い、希望をもって１年間前進することを願って実施した。

初めに川崎校長が生徒に向け「おもちのように皆さんの学力が伸びて、困難にも粘り強く立ち向かえますように。そして、出来上がったおもちはトラのようにガブっと美味しく食べましょう」と挨拶した。長年保護者として「もちつき大会」開催に貢献してきた吉川純一委員長が紅白の法被姿で祭りの音楽と共に登場し、大会の雰囲気を大いに盛り上げた。

今回はZoom 開催のため、生徒がそれぞれの家庭で予め炊飯器で炊いたもち米を用意し、先生の指示に従いながら、すりこぎ棒を使ってボールの中でトントンとついていった。10分ほどでもちが完成し、待ちに待った試食タイムでは、つきたてのもちに、磯部、きなこ、あんこなどの味付けをして頬張った。食べ終わると「思ったより簡単に作れた」「おもちがなが～く伸びた」「醤油と海苔で食べるのがおいしい」「きなこ味が一番好き」と笑顔で感想を述べていた。

◆ＬＩ校は、オンラインの授業を工夫します！今後も２月12日（土）「キリバス環境セミナー」や、２月19日（土）に、「ふれあい天文学」が予定されています。

＜中高等部スピーチ大会＞

◇１２月１８日（土）の午後にＬＩ校の伝統ある第25回「スピーチ大会　～私の主張から」が、開催されました。中学部９人、高等部７人の生徒が参加しました。先生方が推薦したり、学級でスピーチの時間を設けて、みんなで代表を決めたりして来ました。１６人の代表者のスピーチでは、話す声の大きさ、スピード、間の取り方、視聴者への言葉の投げかけ方、表情等は本当に素晴らしいものでした。日常から感じたこと、思ったこと等を自分の言葉で表現するＬＩ校の授業の積み重ねの成果、ありがとうございます！



NY補習校LI校でスピーチ大会

最優秀賞
高2　サリバン光博さん
中2　高橋勇登さん

ニューヨーク補習授業校ＬＩ校（川崎淳一郎校長）は12月18日、「第25回スピーチ大会～私の主張」を昨年に引き続きオンラインにて実施した。人前で発表をすることを通して日本語の理解をより深めていくことを目的とし、1996年から続くＬＩ校の伝統行事。本年も中高等部の代表16人によって、熱のこもったスピーチが行われた。審査は、生徒、教員、ゲスト審査員による投票によって行われ、最優秀賞は、日常を発表したサリバン光博さん（高2）と「大切な人へ『ありがとう』を発信しよう」と感謝の気持ちを伝えていきたいとの思いをスピーチに込めた高橋勇登さん（中2）が同点受賞した。サリバンさんは、毎日同じことの繰り返しで飽き飽きしていた一日常が、突如コロナ禍で奪われてみて初めて実は自分たちに安定感を与えてくれる大切な支えだったのだと気づき、だからこそ今を大事にして「日常に感謝しよう」と聴衆に訴えかけた。受賞後のインタビューで、サリバンさんは同じテーマを選んだ理由について「卒業が近づき、自分が幼いころから日常の一部であった補習校生活が後3かげ経てば失われてしまうと考えたら、他の生徒にもこの気持ちを伝えたい」と思った、と述べた。

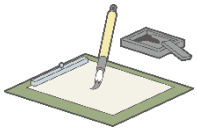
高橋さんは、親しい友人のお母さんが癌で突然亡くなった体験から、これから族や友人にはもしかしたらその日が最後になるかもしれないという気持ちで毎日入賞が山口浩さん（高2）、入賞が山岡龍生さん（高2）、小倉真那さん（高2）、審査員特別賞が三浦彩良さん（中1）。

優秀賞を受賞するとは思いもしなかったので、とても驚きました。皆さんに僕の思いが伝わったことがとても嬉しいです」と表情に喜びを語った。

川崎校長は本大会を振り返って「改めて日頃思っていること、感じていることを本当にしっかりと時間をかけて考え、素晴らしいテーマで発表した」と話した。その他の入賞者は、優秀賞が市川華さん（高2）、

◇＜お知らせ＞
上記２つの新聞記事は、１月15（土）、22日（土）発行の週刊NY 生活に掲載していただいたものです。

【W校　活動場面】　１２月 ～ １月





＜W校　書き初め＞

◇ １月８日（土）１５日（土）２２日（土）の３日間、小ジムにおいてクラスを分けて少人数で書き初めを行いました。前半は、書き方の注意やコツなどを教わり、新聞紙に何回も練習しました。一人ひとりが黙々と座る姿勢や立つ姿勢を工夫しながら、思い思いに伸び伸びと「日本の文化」＝書道の道を進んでいました。












＜幼児部もちつき大会＞　◇１２月１８日（土）大ジムで、行われ全員が杵でつく体験ができました。






＜初等部５、６年学習発表会＞　◇１２月１８日（土）講堂で保護者に見ていただきました。







＜W校の風景＞◇ 教職員と保護者の入校は、アプリを使ってできるようになりました。







